

STUMPJUMPER



ユーザーマニュアル



目次

1. はじめに	1
1.1. 使用用途	1
1.2. 保証	1
2. 組立に関する基本的な情報	2
2.1. フォーク/ヘッドセット	2
2.2. シートポスト	2
2.3. ボトムブラケット	3
2.4. リアアクスル	3
2.5. チェーンガイド	3
2.6. デイレーラーハンガー	3
2.7. ステム	4
3. メンテナンスに関する基本的な情報	5
4. 仕様	6
4.1. ジオメトリー	6
4.2. 基本的な仕様	7
4.3. ショックのカスタマイズ	7
4.4. 必要な工具	7
4.5. ボルトのサイズ/工具/トルク基準値	7
4.6. 一般トルク基準値	8
4.7. ベアリング仕様	8
4.8. スペーサー/アクスル/ボルトの仕様	8
5. インターナルルーティング	11
5.1. ドロップバーシートポスト	11
5.2. シフト/ブレーキハウジング	11
5.3. ヘッドチューブCRポート	12
6. リアトライアングルピボットアセンブリ	13
6.1. ベアリングアセンブリ	13
6.2. ピボットアセンブリ	14
6.3. サスペンショントルク基準値	19
7. フリップチップ	19
7.1. アロイエクステンションフリップチップの調整	19
7.2. カーボンエクステンションフリップチップの調整(S-WORKのみ)	20
8. エアショックの設定	21
8.1. 空気圧の設定	21
8.2. リバウンドの調整	21
8.3. コンプレッションの調整	22
9. デイレーラーハンガー	22
10. 小型パーツ	24

SPECIALIZED BICYCLE COMPONENTS

15130 Concord Circle, Morgan Hill, CA 95037 (408) 779-6229
0000153163_UM_R1, 06/20

当社は本文書に対して内容の更新または追加の発行を適時行うことがあります。定期的に www.specialized.com を確認するか、またはカスタマーサービスにお問い合わせいただき、最新の情報を確実に入手してください。

お問い合わせ : info.japan@specialized.com / 046-297-4373

1. はじめに

本ユーザーマニュアルは、Specialized Stumpjumper に特化したものです。オーナーズマニュアルには、安全、性能、技術に関する重要な情報が掲載されています。初めての乗車の前に必ずお読みいただき、参照用に保管してください。またスペシャライズドバイクオーナーズマニュアル（「オーナーズマニュアル」）はすべてお読みいただく必要があります。追加となる重要な一般的な情報やインストラクションが含まれており、オーナーはそれらに従わなければなりません。オーナーズマニュアルをお持ちでない場合は、www.specialized.com から無料でダウンロードできるほか、最寄りのスペシャライズド正規販売代理店またはカスタマーサービスにご連絡のうえお受け取りください。

お使いのバイクのサスペンションやペダルなどの特定のコンポーネント、あるいはヘルメットやライトなどのアクセサリーなどに関する安全、性能、サービスについての追加情報も入手可能です。バイクまたはアクセサリーに含まれるすべてのメーカー注意書きを、スペシャライズド正規販売代理店から受領されていることを必ずお確かめください。このマニュアルの指示とコンポーネントメーカーの情報に違いがある場合は、スペシャライズド正規販売代理店にお問い合わせください。

このユーザーマニュアルには、重要な内容をお伝えするさまざまなシンボルマークや警告サインが使用されています。それらの説明は以下のとおりです。



警告！このシンボルマークと表記の組み合わせは、回避しないと重大な事故や死亡事故を引き起こす可能性のある、潜在的に有害な状況を示しています。警告の多くには、「制御を失って転倒する可能性があります」などの文言が使用されています。いかなる転倒も重大な事故または死亡につながる可能性があるため、傷害や死亡の可能性が常に繰り返し言及されているわけではないことに留意してください。



注意：安全を喚起するこの安全性警告記号と「注意」という表記の組み合わせは、回避しないと軽傷または中程度の傷害を引き起こす可能性のある、潜在的に有害な状況を示しています。

安全性警告記号を伴わない「注意」の表記だけが表示されている場合は、回避しないとバイクに深刻な損傷が生じるか、または保証が無効になる可能性のある状況を示しています。



重要情報：このシンボルマークは、特に重要な情報であることを示しています。



グリス：このシンボルマークは、図示されているとおりに高品質のグリスを塗布することを示しています。



カーボンフリクションペースト：このシンボルマークは、摩擦力を高めるため、図示されているとおりにカーボンフリクションペーストを塗布することを示しています。



トルク値：このシンボルマークは、特定のボルトに対する正しいトルク値を示しています。指定されたトルク値を得るためには、適正な品質のトルクレンチを使用する必要があります。



技術的ヒント：技術的ヒントは、取り付けや使用に関して役立つヒントやコツをお伝えするものです。

1.1. 使用用途

Stumpjumper は、マウンテンバイク（コンディション 4）向けの用途のみを目的とし、テストされています。使用用途およびフレームやコンポーネントの構造上の重量制限に関する詳細については、オーナーズマニュアルを参照してください。

1.2. 保証

バイクに同封された保証規定を参照するか、弊社ウェブサイト (www.specialized.com) でご確認ください。保証規定は、スペシャライズド正規販売代理店でご入手いただけます。

2. 組立に関する基本的な情報

このマニュアルは、完全な組立、使用法、サービス、修理またはメンテナンスの手引きを目的としたものではありません。的としたものではありません。あらゆるサービス、修理またはメンテナンスガイドについては、お近くのスペシャライズド正規販売代理店にお問い合わせください。お近くのスペシャライズド正規販売代理店が、バイクの使用、サービス、修理およびメンテナンスに関する教室、相談室、または本などを紹介するサービスを行うことがあります。



警告！ Stumpjumper は構造が複雑なため、正確に組み立てるためには専門知識、専門技術、熟練および特殊工具が必要となります。組立、メンテナンス、およびトラブルシューティングは、スペシャライズド正規販売代理店で行うことが大変重要です。



警告！ Stumpjumper の多くのコンポーネント（リアサスペンション含みますがこれに限らず）は、Stumpjumper 専用設計されています。最初に装備されていたコンポーネントおよびハードウェアのみを常に使用してください。他のコンポーネントまたはハードウェアを使用すると、組立の完全性と強度を損なうことになりかねません。Stumpjumper 専用のコンポーネントは、他のバイクにフィットしたとしても使用せず、Stumpjumper にのみ使用してください。この警告に従わなかった場合は、重傷または死亡事故につながる可能性があります。



警告！ フレームまたはコンポーネントのいかなる変更も決して行わないでください。やすりで削ったり、ドリルで穴を開けたり、また、パーツを取り外したりしないでください。適合性のないフォークやサスペンションパーツを取り付けしないでください。フレームやフォーク、コンポーネントを不正に改変すると、制御を失って転倒する可能性があります。



Stumpjumper バイクを正しく組み立てるには、本マニュアルに記載されている指示の順序に従うことが非常に重要です。組立の順序を変更すると、組立プロセスが長くなります。

2.1. フォーク／ヘッドセット

ヘッドセットは、1 1/8" (41.8 mm x 30.5 x 8 mm、45 x 45°) の Campagnolo Standard に適合しているアッパーベアリングと、1.5" (52 mm x 40 x 7 mm、45 x 45°) のロワーベアリングを使用しています。交換ベアリングはスペシャライズドのヘッドセット仕様に合わせて確認してください。どちらのベアリングの取り付けおよび取り外しにも、工具は必要ありません。取り付ける前にベアリングにグリスを塗布してください。

バリや鋭利な角がないかどうか、フォーク、ステム、シートポスト、シートチューブをチェックします。細目サンドペーパーでバリや鋭利な角を取り除きます。



警告！ バリや鋭利な角があると、コンポーネントのカーボンやアロイの表面を損傷する可能性があります。ステムまたはフォークに深い傷や溝があると、コンポーネントの強度が不足する可能性があります。

2.2. シートポスト

シートポスト最小挿入長：

フレームとシートポストの両方に、満たすべき最小挿入長限度があります。またフレームには、フレームとシートポストの損傷を防ぐために最大挿入長も設けられています。

■ **最小挿入長：**シートポストをフレームに、シートポストの最小挿入長／最大引出限度 (min/max) の印が見えなくなるまで深く挿入します。フレームは、最低 80mm 挿入しなければなりません。

■ **最大挿入長：**シートチューブは、各フレームサイズに対して、指定されている最大挿入長の深さまでリーミングします。この「リーマ深さ」によって、シートポスト挿入の深さが制限されます。図 2.1 の表を参照してください。

■ **最小および最大挿入長限度内で必要なシートポストの高さを達成できない場合は、シートポストを短いものか、長いものに交換する必要があります。**

■ **サドルの高さが決まったら、シートポストのカラーボルトを 6.2 Nm (55 in-lbf) のトルク値で締めます。**



シートポストとシートチューブの間の接触面にグリスを塗布しないでください。グリスを塗布すると、シートポストを確実に固定する摩擦力が薄れてしまいます。スペシャライズドでは、カーボンの表面間の摩擦力を強化する、カーボンアセンプリコンパウンド（カーボンペースト）の塗布を推奨しています。追加情報についてはお近くのスペシャライズド正規販売代理店にお問い合わせください。

- 

指定されているリーマ深さは、図 2.1 の表に記載されています。リーマ深さの公差は、フレームによって変わる場合があります。シートチューブに通常の 34.9 シートポストを取り付けて、フレームの実際のリーマ深さを検証してください。
- 

シートチューブは、34.9 ポスト用に設計されていますが、シムを使用することによって、30.9 シートポストも使用できます。
- 

警告！ シートポストとフレームの挿入長限度 (図 2.1) に従わないと、フレームおよびシートポストの損傷を引き起こし、制御を失って転倒する可能性があります。

シートポストを短くカットした場合、シートポストの min/max の印は正確なものではありません。シートポストをカットする前に、シートポストのメーカーが求めている最小/最大の深さを確認してください。
- 

警告！ シートポストの取り付けについての基本情報は、オーナーズマニュアルの該当セクションを参照してください。不適切に装着されたシートポストによって、サドルやシートポストがずれることがあり、これによってフレームが損傷し、制御を失って転倒する可能性があります。
- 

警告！ バリや鋭利な角がないかどうか、シートポストとシートチューブをチェックします。細目サンドペーパーでバリや鋭利な角を取り除きます。

2.3. ボトムブラケット

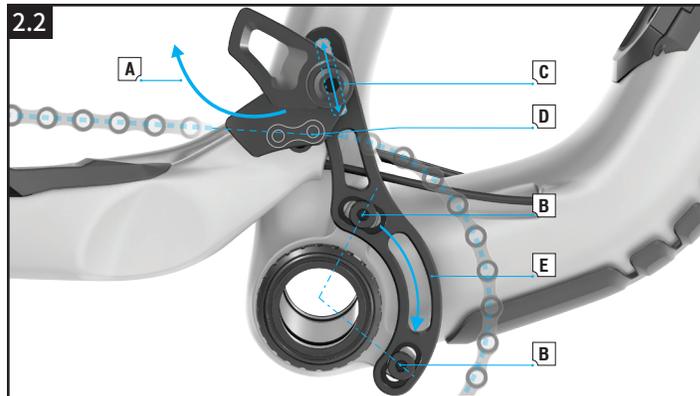
Stumpjumper モデルは、ねじ付きの 73 mm 幅のボトムブラケットシェルを備え、BSA ねじ付きアウトボードベアリングボトムブラケットに適合します。ボトムブラケットの適合性については、クランクメーカーの資料を参照してください。

2.4. リアアクスル

Stumpjumper モデルは、148 mm ブーストリアハブのエンド幅であるため、148 mm ブーストに適合するリアホイールが必要です。

2.5. チェーンガイド

特定のモデルには、2つの ISCG タブに取り付けるカスタムチェーンガイドが装備されています。チェーンガイドを上向きに回転させて、チェーンリングへのチェーンの取り付けと取り外しができます。2つのガイドブラケット (28-32t および 28-36t) が用意されています。



チェーンガイドの位置の設定手順：

- チェーンガイドセクションを回転させて上に向け (A)、チェーンガイドブラケットを調整範囲の中央に位置させ、2本の ISCG ボルト (B) を軽く締めます。
- クランクとチェーンを取り付けた状態で、チェーンガイド (C) を緩めてスライドさせ、インナープレートのチェーンリングプロファイルがチェーンリングに巻き付くようにチェーンと位置を揃えます (チェーンが取り付けられていなくても、リング自体と位置を揃えることができます)。
- チェーンを最も低い (最も大きな) ギアに位置させ、サグ (エア圧) を約 50% (ショックから空気をいくらか抜きます) の状態にして、チェーンガイドとチェーンの間隔をチェックします。この時点でチェーンガイドとチェーンが接触する場合は、接触しなくなるまでブラケットを前方 (E) に回転させます。
- 2本のボルト (B) を、6.2 Nm (55 in-lbf) のトルク値で締めます。

 **注意 (カーボンフレーム)：** ねじ山がフレームに 7 回転 (7 mm) 以上かみ合うボルトは使用しないでください。

2.6. ディレイラーハンガー

Stumpjumper フレームは、リアドロップアウト部に SRAM UDH (ユニバーサルディレイラーハンガー) を使用しています。このハンガーは、SRAM の取り付け方法に従って取り付ける必要があります。22 ページの取り付け手順を参照してください。または、SRAM UDH ユーザーマニュアルを参照してください。

2.7. ステム

一部の Stumpjumper モデルには、アロイトレイルステムが装備されています。



警告！ このステムは、ステムボディとアッパーボルト部分のフェースプレートとの間に隙間がないように設計されています。アッパーボルトは、トルクをかけて締め付ける前にフェースプレートがステムボディに対して接するように締めしておく必要があります。フェースプレートがステムボディに対して接する位置にないと、ハンドルバーに構造的な損傷が生じる可能性があります。

図2.3

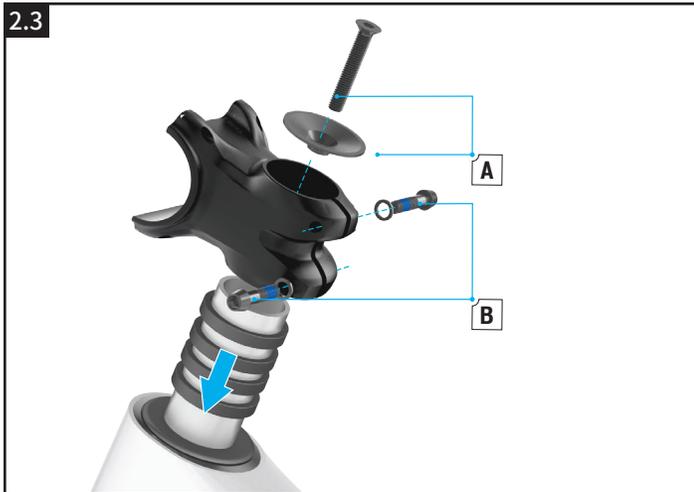


図2.3

- ステムをステアラーチューブに取り付けたら、トップキャップとボルト (A) を取り付け、トップキャップのボルトを締めます。
- フロントホイールにステムを合わせ、リアステムボルト (B) をトルク基準値で締め付けます。

図2.4

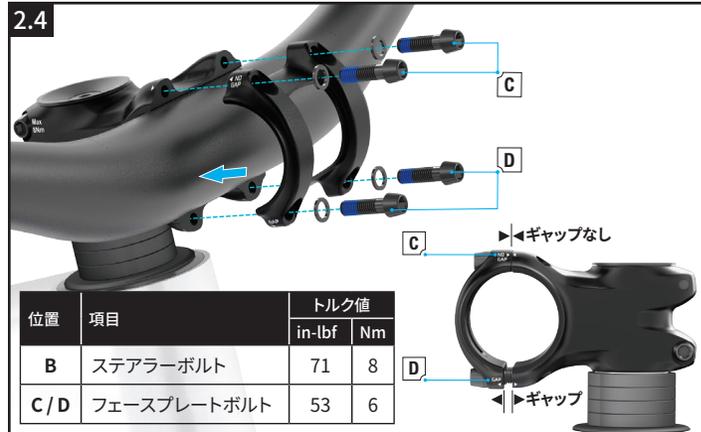


図2.4

- フェースプレートを通して、ステムボディにステムボルトを軽く締め付けます。
- ハンドルバーを好みの位置に設置します。
- アッパーボルトを仕様に従って左ボルトから右ボルトの順に交互に徐々に締め付け、トルク基準値に達するまでトルク値を均等に上げていきます (C)。
- ロワーボルトを左ボルトから右ボルトの順に交互に徐々に締め付け、トルク基準値に達するまでトルク値を均等に上げていきます (D)。
- ハンドルバーを上下に回転させ、フロントホイールを保持したままハンドルバーを左右にひねって、ハンドルバーが正しく取り付けられていることを確認します。動きがある場合は、ステムが十分に締め付けられていません。正しいトルク値で締め直してください。



警告！ バリや鋭利な角があると、コンポーネントのカーボンやアロイの表面を損傷する可能性があります。ステムまたはフォークに深い傷や溝があると、コンポーネントの強度が不足する可能性があります。

注意： ストレスがかからないように、ステアラーチューブに接触しているステムの角はすべて丸くなっています。

3. メンテナンスに関する基本的な情報

Stumpjumper は、ハイパフォーマンスなバイクです。すべての定期メンテナンス、トラブルシューティング、修理およびパーツの交換は、スペシャライズド正規販売代理店にご依頼ください。お使いのバイクのメンテナンスに関する一般的な情報については、オーナーズマニュアルを参照してください。さらに、オーナーズマニュアルに記載されているとおり、乗車前には必ず安全点検を定期的に行ってください。

- カーボンファイバーまたは複合素材に損傷を与えないように十分注意してください。損傷が構造上の完全性を損なう原因となり、致命的な障害を引き起こす可能性があります。損傷は、検査の際に見える場合と見えない場合があります。乗車前には毎回、またいかなる衝突の後にも、注意深くバイクを点検し、摩耗、へこみ、塗料への傷、欠損、折れ、または他の損傷の兆候がないかどうか確認してください。これらのいずれかが見つかった場合、乗車しないでください。衝突が起こった後は、その後の乗車前に、スペシャライズド正規販売代理店で全体の点検を受けてください。
- 乗車中は、きしみ音がないか注意して聞いてください。きしみ音はコンポーネントに問題が少なくとも1つはあることを示している場合があります。定期的に明るい日差しの中ですべての表面を点検し、溶接部、継ぎ目、穴、他のパーツとの接触部など、力のかかる箇所に細かいひびや疲労による変質がないかどうかチェックしてください。どんなに小さいものであっても、きしみ音が聞こえる場合、過度の消耗の兆候を見つけた場合、ひびを発見した場合、またはバイクに損傷がある場合は、直ちに乗車を停止し、スペシャライズド正規販売代理店で検査を受けてください。
- 寿命およびメンテナンスの種類と頻度は、使用状況、ライダーの体重、乗車コンディションおよび/または衝撃などの要因によって異なります。過酷な要因、とりわけ塩分を含んだ空気（例えば海の近くでの乗車や冬の乗車など）によって、クランクスピンドルやボルトなどのコンポーネントが電解腐食を起こし、消耗が加速して寿命を短くする恐れがあります。埃もまた、表面やベアリングの消耗を加速させます。乗車の後は必ずバイクの表面を洗浄してください。スペシャライズド正規販売代理店で、洗浄、腐食の兆候および/またはひび割れのチェック、潤滑油の塗布など、バイクのメンテナンスを定期的に行ってください。フレームや他のコンポーネントに腐食やひびを発見したら、その部品を交換する必要があります。
- ドライブトレインのメーカーの指示に従って、ドライブトレインの洗浄と潤滑油の塗布を行ってください。
- ベアリングに高圧洗浄機を直接使用しないでください。庭で使用する一般的なホースの水であっても、ベアリングのシールやクランクインターフェイスの中に水が浸入し、ベアリングとクランクの消耗を加速させます。洗浄には、清潔で湿った布とバイク用洗浄剤を使用してください。

- バイクを、日なたに駐車した車内やラジエーターの熱源の近くなど、長時間の直射日光や過度の熱にさらさないでください。



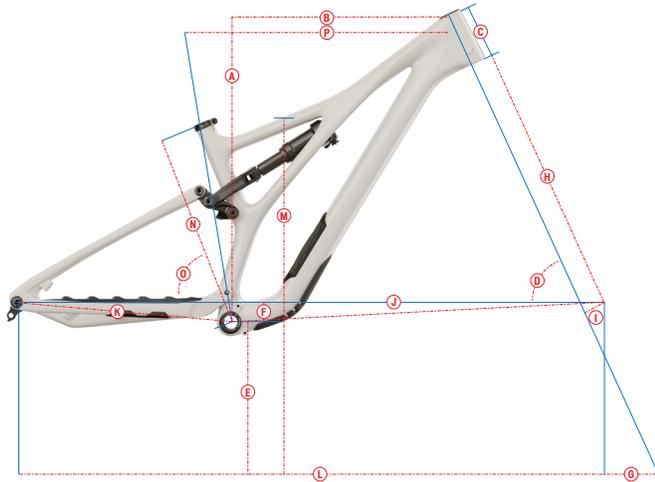
警告！このセクションの指示に従わないと、お使いのバイクのコンポーネントに損傷をきたす原因となり、保証が無効になります。しかし最も重要なことは、重傷または死亡事故につながる可能性があるということです。バイクに何らかの損傷の兆候があるときは、バイクを使用せず、直ちにスペシャライズド正規販売代理店で検査を受けてください。



警告！フレームおよび/またはバイクをメンテナンススタンドに置くときには、スタンドをフレームに対してではなく、シートポストに固定してください。フレームを固定すると、フレームに目視できるまたは目視できない損傷が生じ、制御を失って転倒する可能性があります。

4. 仕様

4.1. ジオメトリー



	フレームサイズ	S1	S2	S3	S4	S5	S6
A	スタック (MM)	614	613	623	632	641	650
B	リーチ (MM)	410	430	450	475	500	530
C	ヘッドチューブ長 (MM)	95	100	110	120	130	140
D	ヘッドチューブアングル (°)	65°					
E	BBハイト (MM)	328	333	333	333	333	333
F	BBドロップ (MM)	47	42	42	42	42	42
G	トレイル (MM)	126					
H	フォーク長 (フル) (MM)	550					
I	フォークレイク / オフセット (MM)	44					
J	フロントセンター (MM)	724	746	770	800	829	863
K	チェーンステー長 (MM)	432	432	432	432	442	442
L	ホイールベース (MM)	1152	1175	1200	1228	1268	1302
M	バイクスタンドオーバーハイト (MM)	730	734	744	749	757	757
N	シートチューブ長 (MM)	385	385	405	425	445	465
O	シートチューブアングル (°)	76°					
P	トップチューブ長 (水平) (MM)	563	583	605	633	660	692
	クランク長 (MM)	165	170	170	170	170	175
	ハンドルバー幅 (MM)	780					
	ステム長 (MM)	40	40	50	50	50	50
	サドル幅 (MM)	155	155	143	143	143	143
	シートポスト最大挿入長 (MM)	220	220	240	260	280	300
	シートポスト最小挿入長 (MM)	80					
	リアホイール幅 (MM)	148					
	フォークサイズ (MM)	140					

上記の表は、出荷時のバイクの標準ジオメトリーを示しています。すべての可能なジオメトリー構成については、www.specialized.com でご確認いただけます。

すべてのサイズはミリメートル単位です。

4.2. 基本的な仕様

部品	パーツ番号	仕様
ヘッドセット	SI42500005	HDS MY14-16 EPIC SW / MARATHON / EXPERT / COMP CARBON HEADSET
シートカラー	SI84700004	STC KCNC, SPL-SC02-386, EXTRUDED, 7075-T6, 38.6MM, SCM435, NONE FINISH BOLT, BOLT CLAMP TYPE
シートカラー直径		38.6 mm
シートポスト直径		34.9 mm
ディレーラーハンガー	S202600002	HGR SRAM AC UDH DERAILLEUR HANGER AL BLACK (00.7918.089.000)
ボトムブラケットシェル		BSA THREADED 73mm
リアハブアクスル	SI70200003	AXL THROUGH AXLE, JD JD-QR43, 7075-T73 AXLE W/C6801 WASHER, REAR, 148MM SPACING, 172MM LENGTH, 12MM
タイヤサイズ最大値		29 x 2.5"
リアホイールトラベル		130 mm
ショック長/ストローク		190 mm / 45 mm
ショックのサグ(エア圧)		13.5 mm (30%)
ショックアイレット		6 mm ID x 19 mm W
最大フォークトラベル		150 mm
最小/最大チェーンリング		28 - 34t
最小/最大リアブレーキローター		180 mm / 200 mm



警告！クラウンフォークは、トラベル量またはトラベル範囲が指定されているものを1つだけ使用してください。異なったスタイルのフォークやトラベル量がより長いフォークを使用すると、フレームに致命的な傷害を引き起こす可能性があり、重傷または死亡事故につながる可能性があります。



警告！SJ フレームは、基本的に29 x 2.5 までのタイヤに適合していますが、タイヤの寸法はメーカーによって異なることがあり、すべてのフォークがより大きなサイズのタイヤを許容する設計になっているわけではありません。必要なクリアランスについて、常にフォークメーカーに確認してください。

注意：チェーンリングの中には、チェーンステアとのクリアランスが適切でないものがあります。使用前にクリアランスとチェーンラインを検証してください。

4.3. ショックのカスタマイズ

スペシャライズドのフレームは基本的に、オリジナルの部品として装備されたサスペンションのコンポーネントと共に使用する目的において、設計およびテストされています。ショックを交換する場合、ショックリザーバータンクの位置、サイズおよび/または他の互換要因が原因で、もし装着できたとしても、ショックのモデルによりフレームと適合しないことがあります。適合するショックに関するアドバイスについては、必ずスペシャライズド正規販売代理店にお問い合わせください。



警告！適合しないショックを使用すると、ショックまたはフレームに損傷を与え、それが原因でコントロールを失って転倒する可能性があります。

4.4. 必要な工具

■ 5, 6 mmのアレン(六角)レンチ	■ 青のネジゆるみ止め(ロックタイト243)
■ TORX T10, T25ドライバー	■ トルクレンチ(SRAM UDHの場合は、リバーシブルタイプ)
■ 高圧ショックポンプ	■ ケーブル、ハウジングおよびチューブの切断用カッター
■ 高品質グリス	

4.5. ボルトのサイズ/工具/トルク基準値



警告！バイクの留め具(ナット、ボルト、ビス)を適正な締め付けトルクで締め付けることは、安全のために非常に重要です。締め付けトルクが弱すぎると、留め具がしっかりと固定されない可能性があります。締め付けトルクが強すぎると、ねじ山がつぶれたり、留め具が伸びたり変形したり、あるいは割れたりすることがあります。いずれの場合も、不適切な締め付けトルクを適用すると、コンポーネントに不具合が生じ、制御を失って転倒する原因となる可能性があります。

指定されている場所には、各ボルトをトルク基準値で締めてください。初めての乗車後、そしてその後も継続的に、すべてのボルトの締め付け具合を再確認し、コンポーネントがしっかりと固定されていることを確認してください。以下は、このマニュアルにおけるトルク基準値の概要です。

4.6. 一般トルク基準値

位置	工具	トルク値	
		(in-lbf)	(Nm)
シートカラー	4 mm HEX	55	6.2
ウォーターボルトボス	3 mm HEX	25	2.8
12 mmリアアクスル	6 mm HEX	133	15
ディレラーハンガー	8 mm HEX	221	25.0
チェーンステップロテクター	T25 TORX	25	2.8
ISCGタブ(最大7 mmのねじ山)	4 mm HEX	55	6.2
SWATラッチ	T10 TORX	4 ¹	0.5 ¹

注意 (ノンピボットボルト) : 必ずすべての接触面をきれいにし、グリスを塗布してください。

¹ 注意 : ラッチが小刻みに動かなくなるまで、SWAT ラッチのビスを締め付けた後、それぞれのビスをさらに 1/4 回転させます。

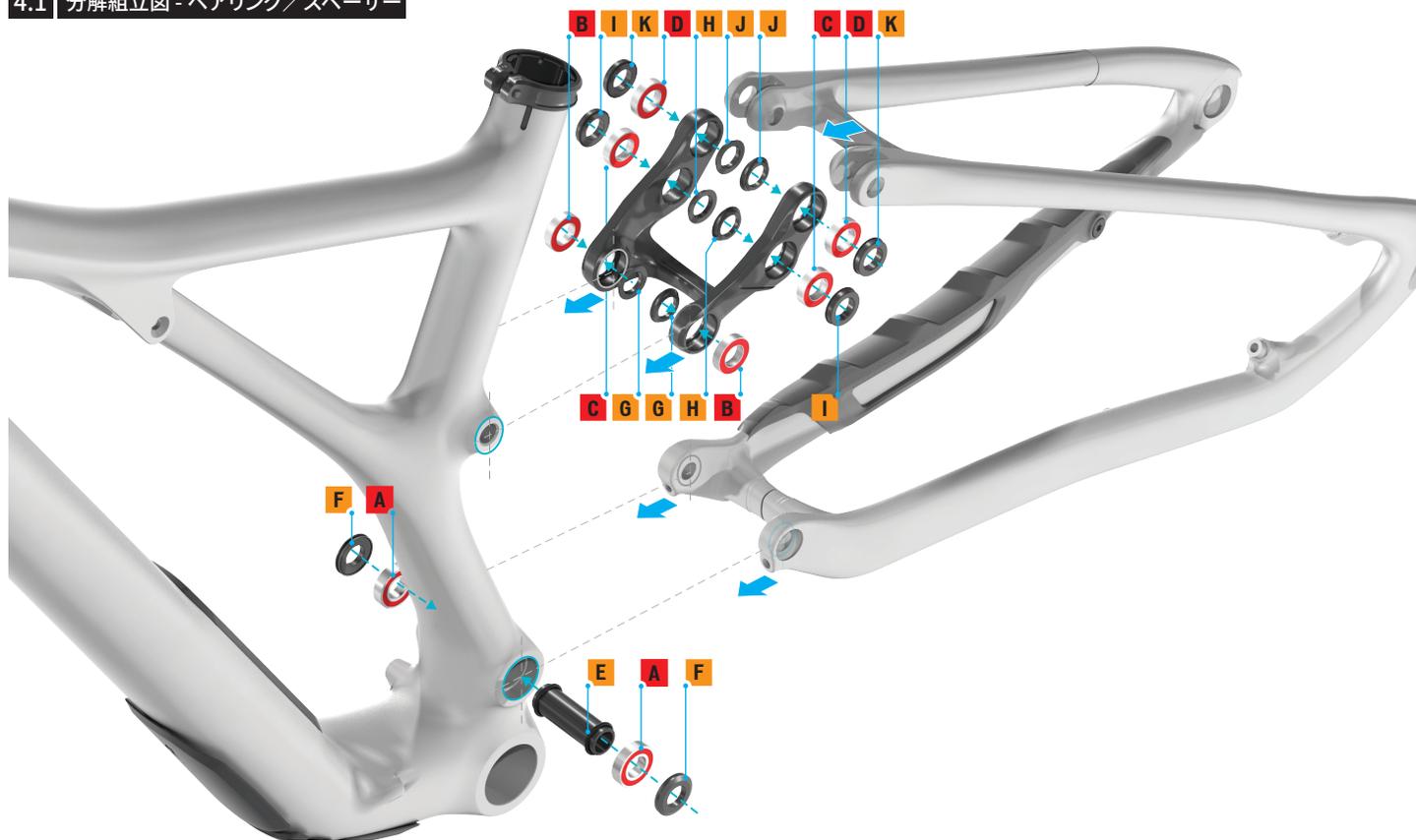
4.7. ベアリング仕様

	数量	ピボット位置	寸法	ベアリング
A	2	メインピボット (チェーンステア)	12 ID X 24 OD X 6 W	6901V-2RS
B	2	リンク @ シートチューブベアリング	12 ID X 21 OD X 5 W	6801-2RS
C	2	リンク @ エクステンションベアリング		
D	2	リンク @ シートステアベアリング		

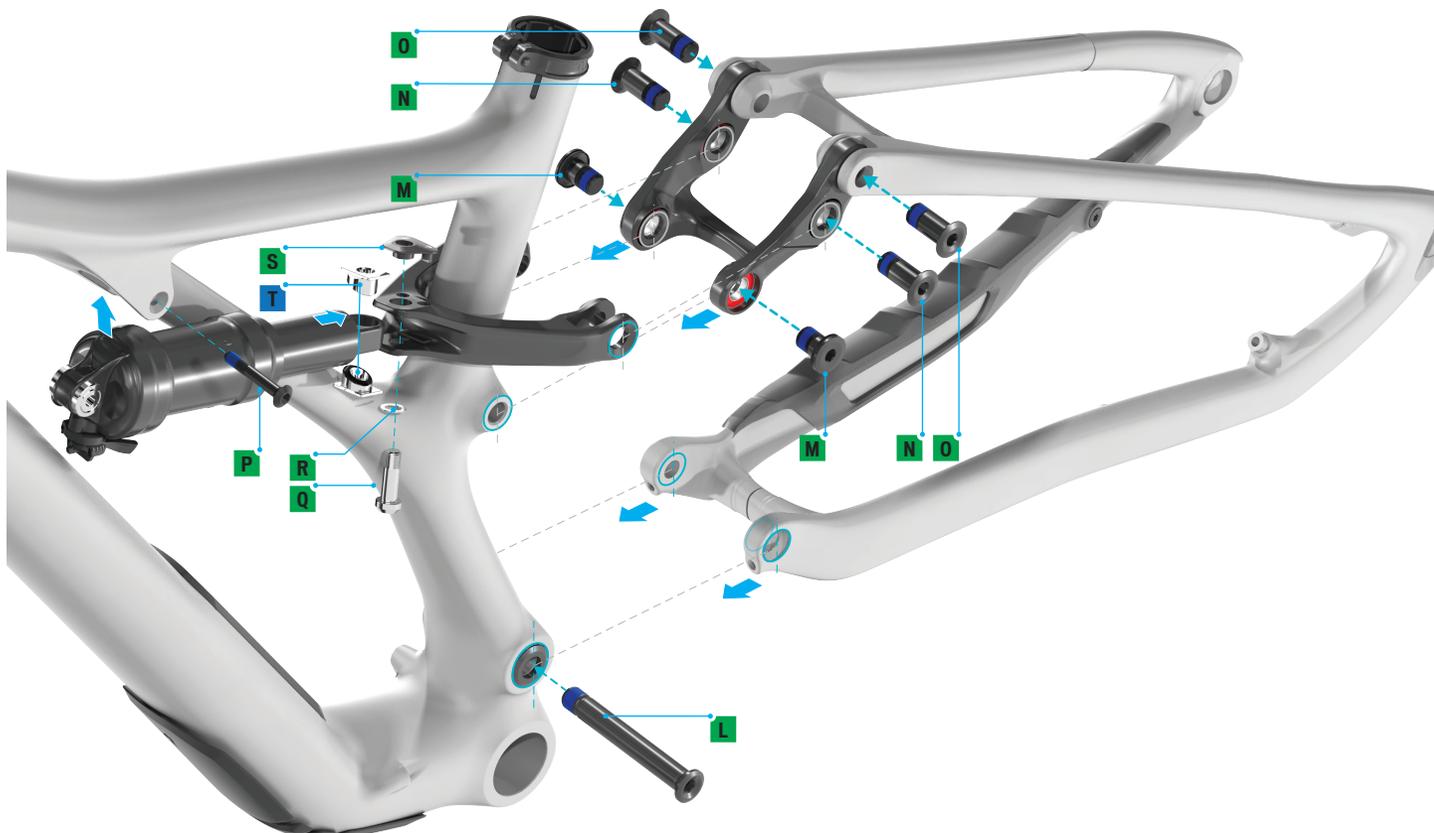
4.8. スパースー/アクスル/ボルトの仕様

	数量	位置/部品	寸法	工具	トルク値	
					IN-LBF	NM
E	1	メインピボットセンタースペーサー	12.1 ID X 15.5 OD X 46.5			
F	2	メインピボットスペーサー	12.1 ID X 23.5 OD X 3.5 W W/SEAL			
G	2	リンク@シートチューブスペーサー	12.1 ID X 19.5 OD X 3			
H	2	リンク@エクステンションスペーサー	12.1 ID X 19.5 OD X 3			
I	2	リンク@エクステンションスペーサー-外側	12.1 ID X 21 OD X 4.5 W/SEAL			
J	2	リンク@シートステアスペーサー	12.1 ID X 19.5 OD X 3			
K	2	リンク@シートステアスペーサー-外側	12.1 OD X 21 ID X 4.5 W/SEAL			
L	1	メインピボットスペーサー	12 ID X 1.0 OD X 91 L	6 MM HEX	160	18
M	2	リンク@シートチューブボルト	M12 X 1.0 X 17、21	6 MM HEX	180	20.3
N	2	リンク@エクステンションボルト	M12 X 1.0 X 30 L	6 MM HEX	180	20.3
O	2	リンク@シートステアボルト	M12 X 1.0 X 30 L	6 MM HEX	180	20.3
P	1	フォワードショックアイボルト	M6 X 1.0 X 40	5 MM HEX	90	10
Q	1	リアショックアイボルト	M8 X 1.25 X 26	6 MM HEX	180	20.3
R	1	リアショックアイワッシャー	8.2 ID X 13 OD X 0.5 T			
S	1	エクステンションねじ付きインサート(カーボンエクステンションのみ)				
T	2	リアショックアイ、偏心フリッブチップ	8 MM ID X 15 MM OD X 6.5 MM W			

4.1 分解組立図 - ベアリング/スペーサー



4.2 分解組立図 - ボルト



5. インターナルルーティング

ルーティングを開始する前に、メインピボットを分解する必要があります (シートステーとリンクピボットは組み立てることができます)。

5.1. ドロPPERシートポスト

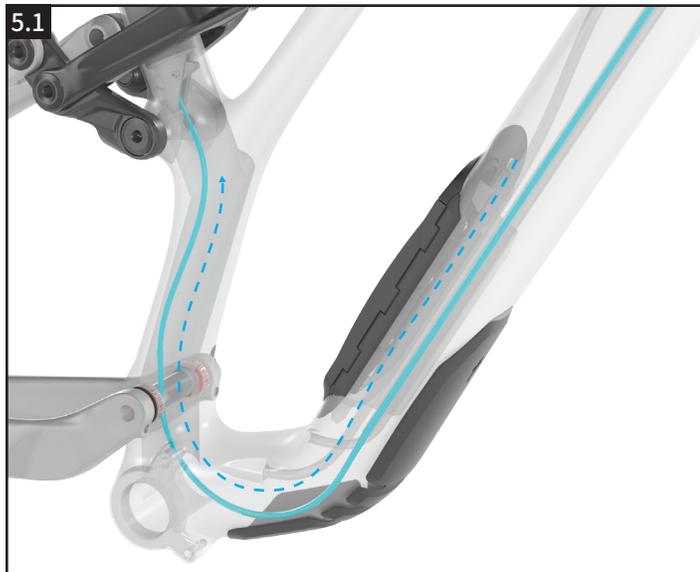


図5.1

- ハウジングをドライブ側のヘッドチューブ ICR ポートに通し、ダウンチューブに通します。さらにハウジングをボトムブラケットのエリアに通し、シートチューブをボトムブラケットの穴に通します。
- メーカーの指示に従ってドロPPERポストを取り付けます。

5.2. シフト/ブレーキハウジング

リアブレーキ:

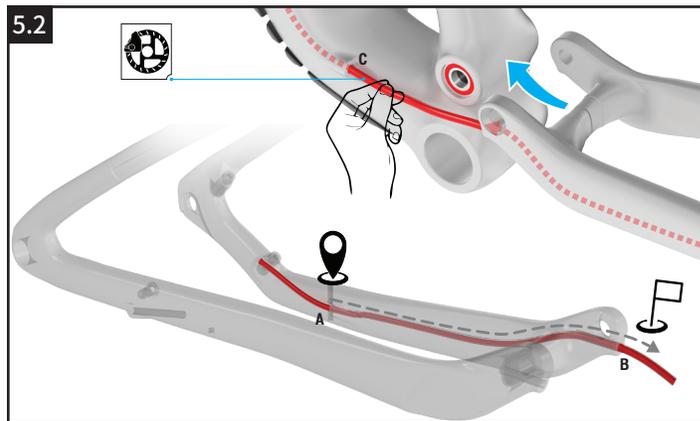


図5.2

- チェーンステーを、チェーンステーのノンドライブ側の内面にある出口ポート (A) に通し、ハウジングを静かに押してねじりながらメインピボット (B) から出します。
- ブレーキハウジングを、ダウンチューブ (C) のベースにあるノンドライブ側のポートに通し、ヘッドチューブのポートから出します (図 5.4)。
- フレームを組み立てたら、メーカーの指示に従ってブレーキアセンブリの取り付けを完了します。



ルーティングを容易にするため、パークツールのルーティングツールを使うと、チェーンステーを通してハウジングを簡単に取り付けることができます。

リアディレクター（機械式）:

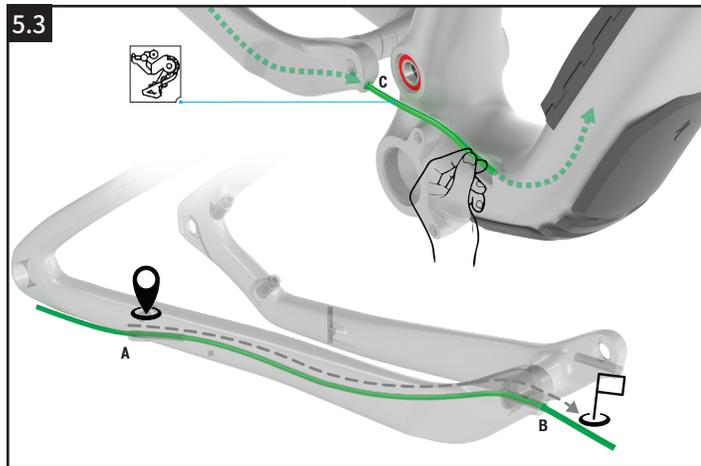


図5.3

- チェーンステーを、ドライブ側のドロップアウト (A) の下方全部にある出口ポートに通し、ハウジングを静かに押してねじりながら、メインピボット (B) から出します。
- シフトハウジングを、ダウンチューブ (C) のベースにあるドライブ側のポートに通し、ヘッドチューブポートから出します (図 5.4)。
- フレームを組み立てたら、メーカーの指示に従ってブレーキアセンブリの取り付けを完了します (完全なガイドはセクション 6 を参照してください)。

5.3. ヘッドチューブ ICR ポート

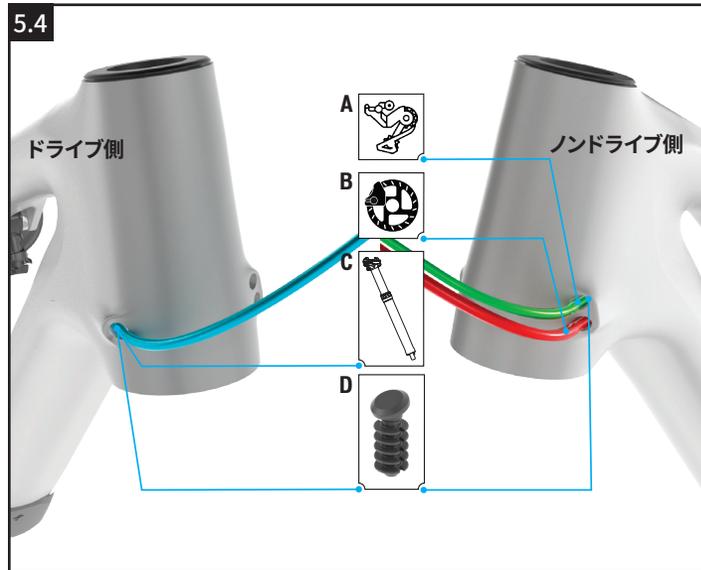


図5.4

- 無線シフティングを使用している場合は、ラバープラグ (D) を使って、ノンドライブ側の ICR ポート (A) の上部出口の穴を塞ぎます。
- 無線作動ドロップバーポストを使用し、ケーブル作動ドロップバーポストを使用していない場合は、ラバープラグ (D) を使って、ドライブ側の出口ポート (C) の上部出口の穴を塞ぎます。

6. リアトライアングルピボットアセンブリ



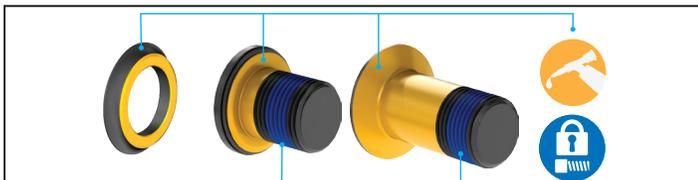
Stumpjumper バイクのリアトライアングルを正しく組み立てるには、本マニュアルに記載されている指示の順序に従うことが非常に重要です。組立の順序を変更すると、組立プロセスが長くなります。



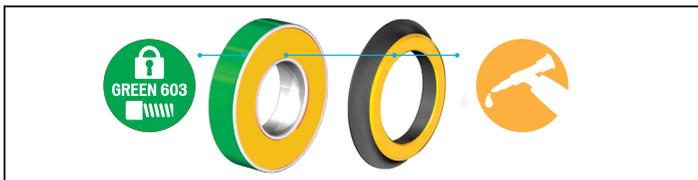
Stumpjumper を適切に組み立てるため、スペーサーをベアリングに配置する前に、内部ベアリングレースに接触するすべての表面にグリスを塗布します。これによって、各ピボットを組み立てる際にスペーサーが維持されます。必ず狭い面（テーパー穴）をベアリングに、広い面をフレームまたはステーに向けてください。



すべてのピボットボルトは、工場ですべての青のネジゆるみ止めパッチで処理されており、ネジの焼き付きやきしみを防ぎます。また、ボルトの接触面にグリスを塗布することもできます。



緑のはめ合い用接着剤（ロックタイト 603）をすべてのベアリング／ボアのインターフェイス表面に塗布し、すべてのベアリングを対応するそれぞれのピボットの位置に押し付けます。



リアトライアングルを組み立てたら、ボトムブラケットを取り付けます。

6.1. ベアリングアセンブリ

メインピボットベアリングおよびスペーサー

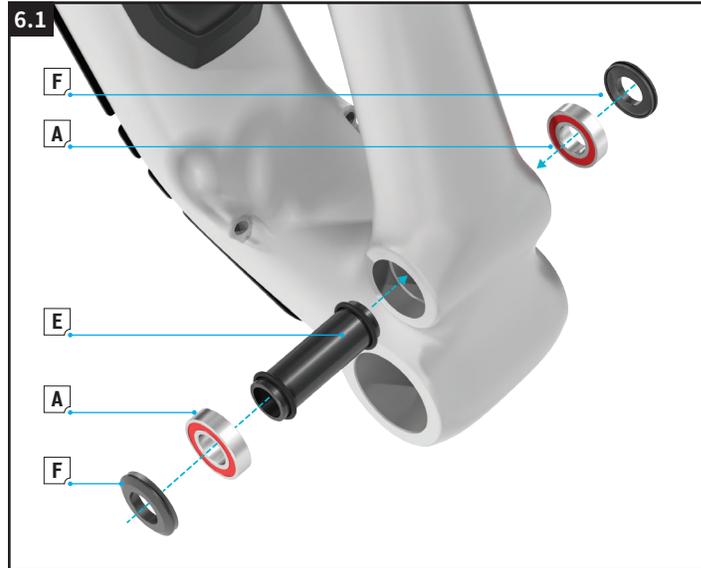


図6.1

- センタースリーブ (E) を挿入して位置を揃え、メインピボットベアリング (A) をメインピボットボアに押し込みます。

リンクベアリング

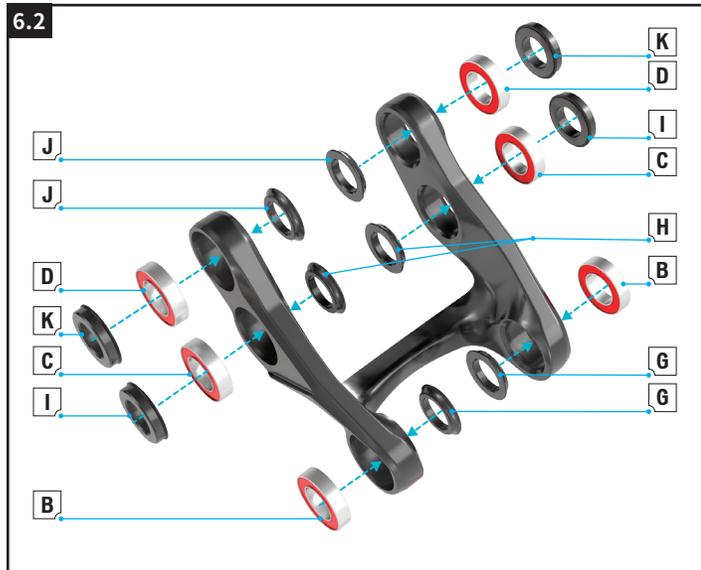


図6.2

- すべてのリンクベアリングを外側から押しします。

6.2. ピボットアセンブリ

アロイエクステンション@ショック

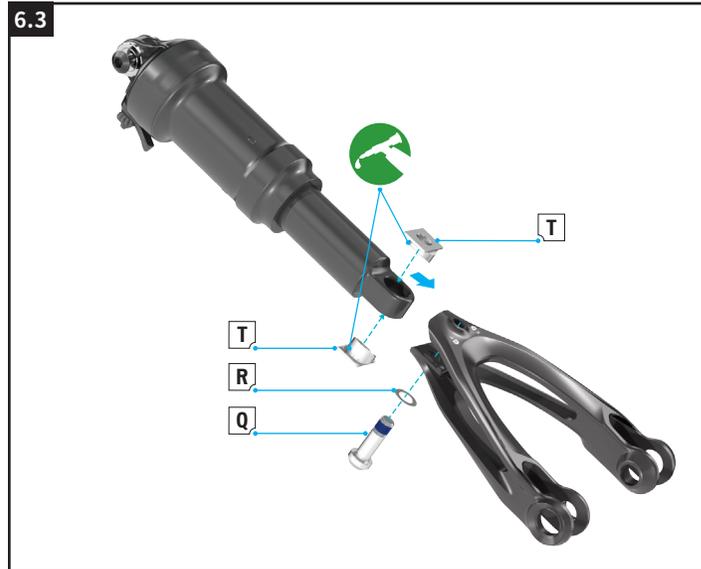


図6.3

- フリップチップの片方それぞれをショックアイレットのハイの位置またはロウの位置に配置します (T)。
- ショック／フリップチップアセンブリをエクステンションに取り付け、ボルト (Q) を挿入して仮止めします。
- すべてのリアトライアングルの組立が完了するまで、ロワーショックアイボルト (Q) を締め付けしないでください。

カーボンエクステンション@ショック(S-WORKのみ)

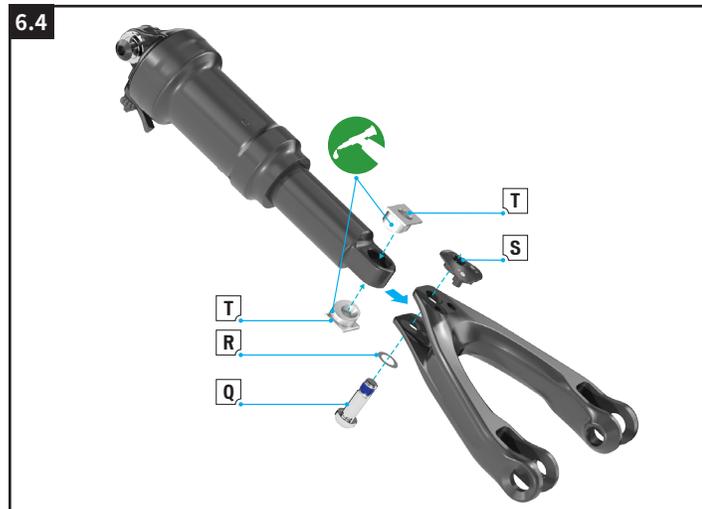


図6.4

- フリップチップの片方それぞれを (T) をショックアイレットのハイの位置またはロウの位置に配置します。
- エクステンションの上部にねじ付きインサートを挿入します。締め付ける前に、取り外し可能なトップナット (S) が正しい方向にあり、エクステンションに完全に収まっていることを確認します。
- ショック/フリップチップアセンブリをエクステンションに取り付け、ボルト (Q) を挿入して仮止めします。
- すべてのリアトライアングルの組立が完了するまで、ロワーショックアイボルトを締め付けしないでください。



警告：ねじ付きインサートを正しく組み立てないと、エクステンションが破損し、制御を失って転倒し、重症または死亡事故につながる可能性があります。

リンク@シートチューブ

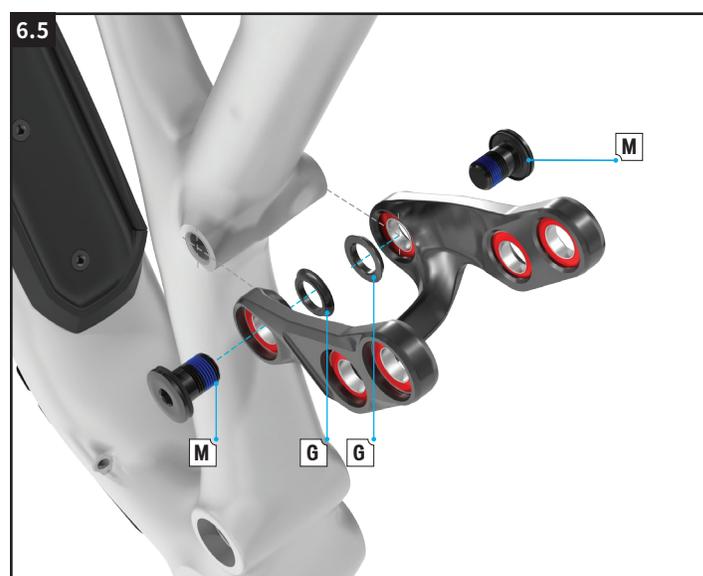


図6.5

- リンクスペーサー (G) (x2) にグリスを塗布し、リンクベアリングに配置します。
- リンクをシートチューブのピボットボアに合わせます。
- ねじ山のない表面にグリスを塗布し、リンクボルト (M) (x2) をフレームに回し入れます。
- 6 mm の六角レンチを使用して、ボルトを 20 Nm (180 in-lbf) のトルク値で締めます。

フォワードショックアイボルト

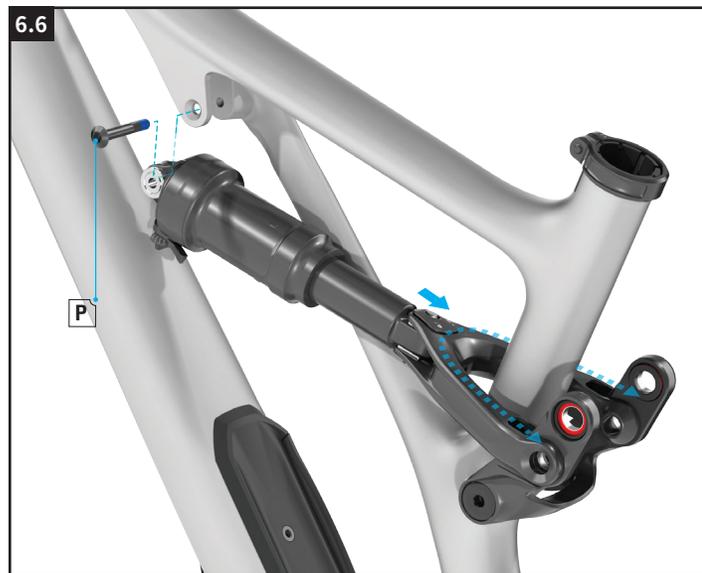


図6.6

- フォワードショックアイをフレームマウントのボアに合わせます。
- ねじ山のない表面にグリスを塗布し、ボルト (P) をショックアイに通して、取り付けタブをフレームに締め付けます。
- 5 mm の六角レンチを使用して、ボルトを 10 Nm (90 in-lbf) のトルク値で締めます。



重要情報：塗装を傷つけないように、ダウンチューブに柔らかい布を巻き付けます。

リンク@エクステンション

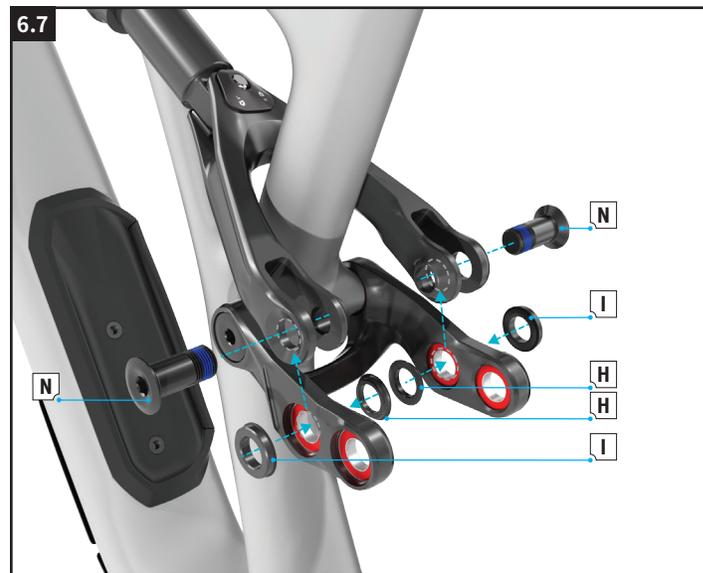


図6.7

- インナースパサー (H) (x2) にグリスを塗布して、テーパードエッジがベアリングに向くようにリンクベアリングに配置します。
- アウタースパサー (I) (x2) にグリスを塗布し、ラバーシールがベアリングに向くようにリンクベアリングを配置します。
- エクステンションをリンクベアリングに合わせます。
- ねじ山のない表面にグリスを塗布し、ボルト (N) (x2) をエクステンションに押し入れます。
- 6 mm の六角レンチを使用して、ボルトを 20 Nm (180 in-lbf) のトルク値で締めます。

シートステー@リンク

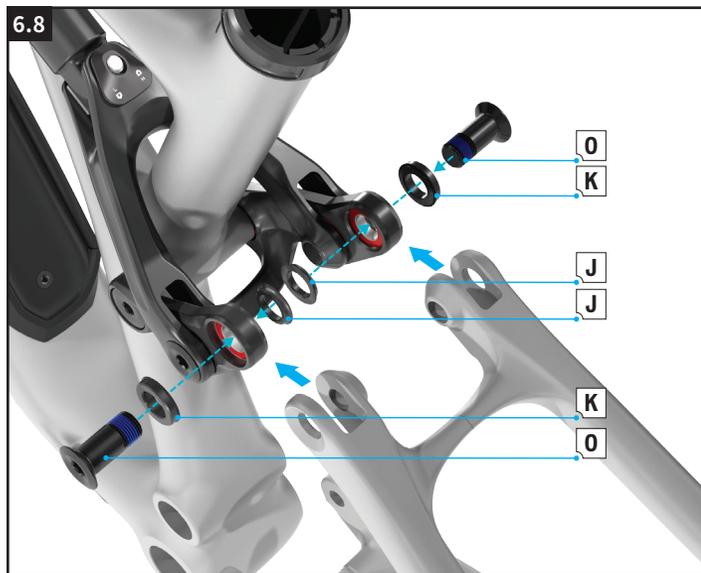
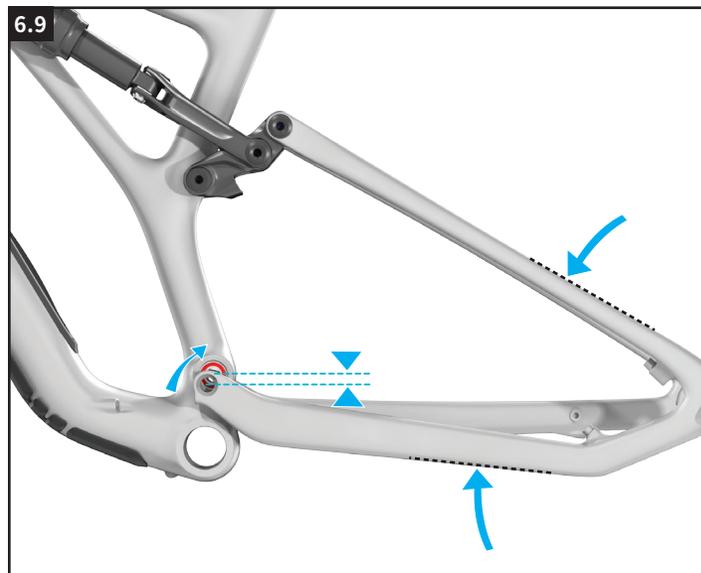


図6.8

- インナー Spacer (J) (x2) にグリスを塗布し、テーパエッジがベアリングに向くようにリンクベアリングに配置します。
- アウター Spacer (K) (x2) にグリスを塗布し、ラバーシールがベアリングに向くようにリンクベアリングに配置します。
- シートステーピボットボアをリンクベアリングに合わせます。
- ねじ山のない表面にグリスを塗布し、ボルト (O) (x2) をエクステンションに回し入れます。
- 6mm の六角レンチを使用して、ボルトを 20 Nm (180 in-lbf) のトルク値で締めます。

メインピボット



メインピボットを組み立てる前に、ブレーキとシフトハウジングをチェーンステーに取り付け、ハウジングをフロントトライアングル内にルーティングします (セクション 5 を参照)。

図6.9

- ドロップアウト部分でリアトライアングルを押し、メインピボットの穴を揃え、ピボットアクスルを取り付けられるようにします。

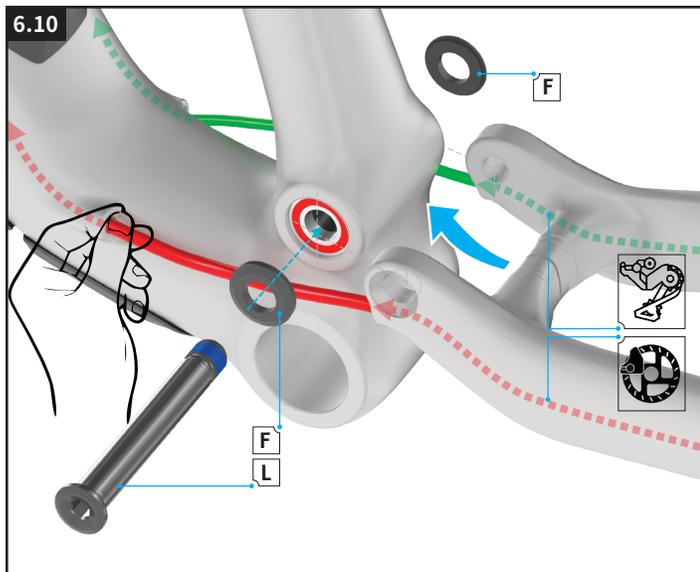


図6.10

- チェーンステーをメインピボットの所定の位置にスライドさせながら、ブレーキハウジングとシフトハウジングの両方をフロントトライアングルに慎重に導きます。
- メインピボットスペーサー (F) (x2) にグリスを塗布し、ラバーシールがベアリングに向くようにベアリングの内側表面に配置します。
- チェーンステーボアをメインピボットベアリングに合わせます。
- ねじ山のない表面にグリスを塗布し、メインピボットアクスルボルト (L) をフレームに挿入し、チェーンステーボア回し入れます。
- 6mmの六角レンチを使用して、ボルトを 18Nm (160 in-lbf) のトルク値で締めます。

ローショックアイレットボルト

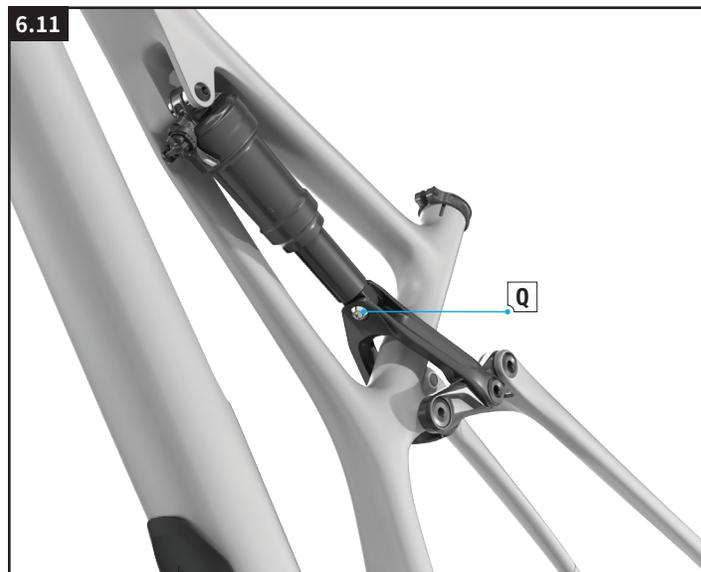


図6.11

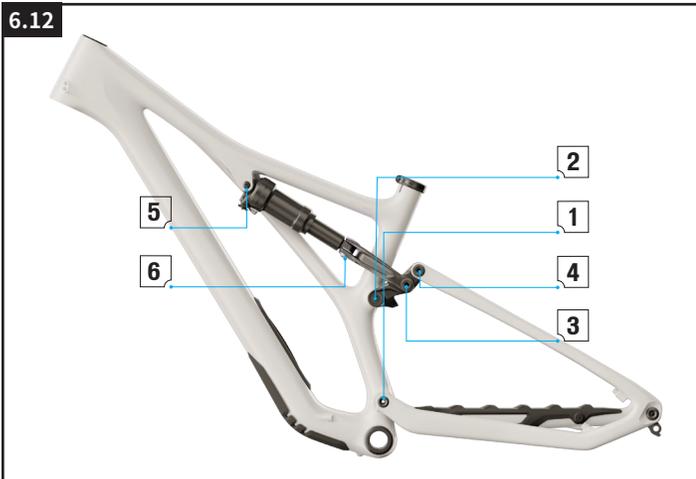
- すべてのピボット部位を組み立ててトルク基準値で締め付けたら、ローショックアイレット (Q) を締めます。
- 6mmの六角レンチを使用して、ボルトを 20Nm (180 in-lbf) のトルク値で締めます。



重要情報：リアショックアイレットを締め付ける際は、長い六角ビットを使用して、塗装面が損傷しないようにしてください。

6.3. サスペンショントルク基準値

6.12



#	ピボット位置	工具	in-lbf	Nm
1	メイン	6 mm Hex	160	18
2	リンク@シートチューブ	6 mm Hex	180	20.3
3	リンク@エクステンション	6 mm Hex	180	20.3
4	リンク@シートステー	6 mm Hex	180	20.3
5	フォワードショックアイ	5 mm Hex	90	10
6	リアショックアイ	6 mm Hex	180	20.3

■ 各ピボットボルトを上記のトルク基準値に従って締め付けます。

7. フリップチップ

Stumpjumperのジオメトリーは、エクステンションにあるフリップチップを回転させることで変更できます。ハイの位置に切り替えると、ボトムブラケットの高さが約7 mm上がり、ヘッドチューブの角度が約0.5度垂直に近づきます。すべてのモデルは、フリップチップをロウの位置に設定して組み立てられています。



警告！フレームの構成（フリップチップの位置、タイヤのサイズ、フォークの長さ）を変更すると、ボトムブラケットの高さおよび/またはヘッドチューブの角度に変化が生じることがあり、これによってバイクの操作性やライドのクオリティに悪影響を与える可能性があります。変更を行う前に、スペシャルイズド正規販売代理店にお問い合わせください。

7.1. アロイエクステンションフリップチップの調整

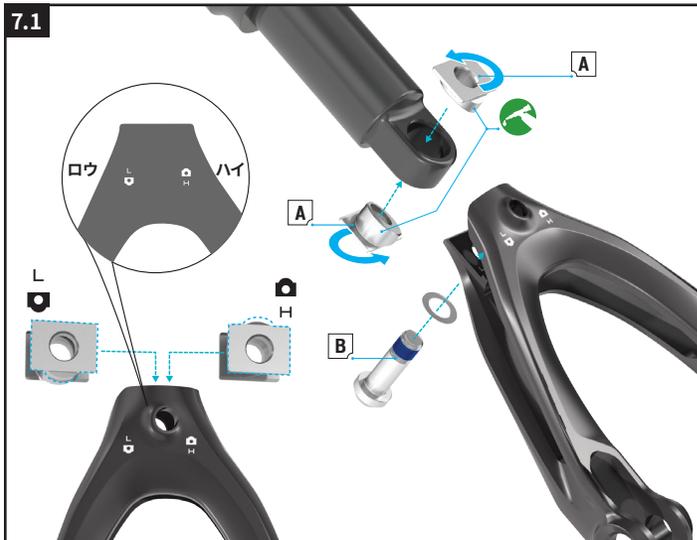


図7.1

- アッパーおよびローショックアイボルトを外し、ショックを取り外します。
- フリップチップの片方それぞれをローショックアイから取り外します。
- 2つのフリップチップを180度回転させてから、ローショックアイに押し戻します。
- ショック／フリップチップアセンブリをエクステンションに取り付け、フォワードショックマウントボルトを挿入して仮止めます。
- フォワードショックマウントボルトを10 Nm (90 in-lbf) のトルク値で締めます。すべてのリアトライアングルの組立が完了するまで、ローショックアイボルトを締め付けしないでください。



リンクとシートチューブの間に布をはさみ、リンクがシートチューブに触れないようにしてください。

7.2. カーボンエクステンションフリップチップの調整 (S-WORKのみ)

7.2

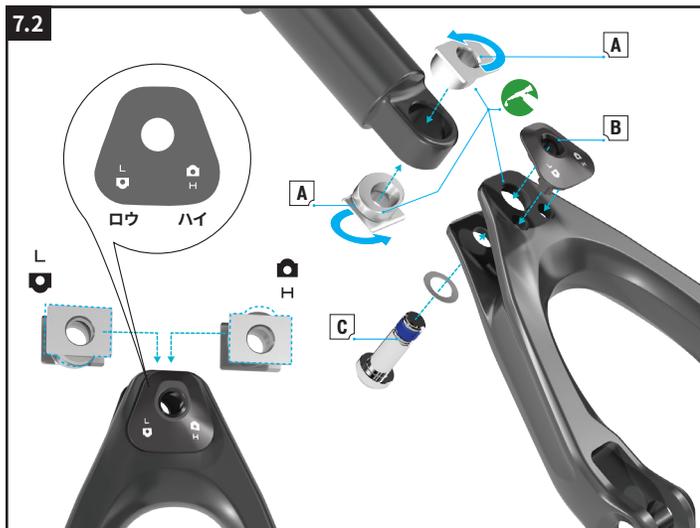


図7.2

- アッパーおよびローショックアイボルトを外し、ショックを取り外します。
- フリップチップの片方それぞれをローショックアイから取り外します。
- 2つのフリップチップを180度回転させてから、ローショックアイに押し戻します。
- ねじ付きインサートをエクステンションの上部に挿入します。締め付ける前に、ねじ山付きインサートの向きが正しく、エクステンションに完全に装着されていることを確認します。
- ショック／フリップチップアセンブリをエクステンションに取り付け、ボルトを挿入して仮止めます。
- ボルトを10 Nm (90 in-lbf) のトルク値で締めます。すべてのリアトライアングルの組立が完了するまで、ローショックアイボルトを締め付けしないでください。



リンクとシートチューブの間に布をはさみ、リンクがシートチューブに触れないようにしてください。



警告：ねじ付きインサートを正しく組み立てないと、エクステンションが破損し、制御を失って転倒し、重症または死亡事故につながる可能性があります。

調整	ボトムブラケット高	ヘッドチューブの角度
ロウの位置	+ 0 mm	+ 0°
ハイの位置	+ 7 mm	+ 0.5°

8. エアショックの設定



サスペンションを設定するときは、常にリアショックの設定を最初に行い、次にフォークの空気圧、リバウンド、コンプレッションの順に設定します。



普段の乗車時に使用しているすべてのギヤ（シューズ、ヘルメット、ハイドレーションバックなど）を身に付けてください。



サスペンションカリキュレーターツールについては、www.specialized.com をご覧ください。サスペンションカリキュレーターは、ライダーの身長と体重に基づいた基準的なサスペンションの設定に関する個人向けの推奨事項を提供します。サスペンションの設定の開始点としては、この基本的な情報を考慮する必要があります。経験/好み、地形条件に基づいて、必要に応じてサスペンションを調整してください。

8.1. 空気圧の設定

- ショックのコンプレッションレバーまたはノブ（青色）を、完全にオープンポジションまたはオフのポジションに設定し、次にリバウンドノブをクリック許容範囲の真ん中に設定します。
- 高圧ショックポンプをエアバルブに取り付け、サスペンションカリキュレーターによる個人向けの基準的なサスペンション設定に基づいてショック圧力を設定します。

8.1

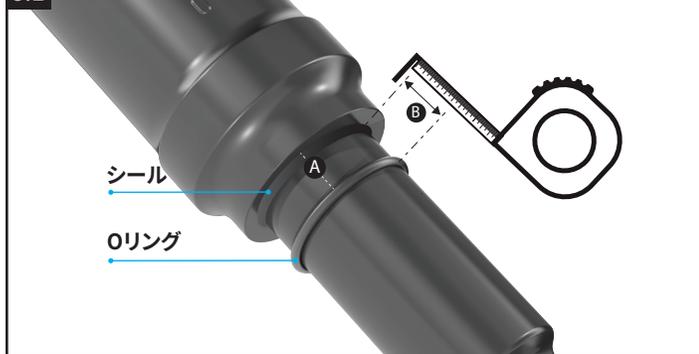


図8.1

- サグ（エア圧）を確認するために、Oリングを押し上げてシール（A）にぴったりと付けます。壁を支えに利用してバイクにまたがり、サスペンションを跳ねさせずに、通常のライディングポジションでサドルに座ります。乗車の最中にサグ（エア圧）を設定しないでください！
- ショックシールとOリングの距離を測定して、サグ（エア圧）をチェックします。サグ（エア圧）が希望する設定に近づいたら、目標のサグが得られるまで、必要に応じて、5psi ずつ空気圧を増減させます。



サグ（エア圧）は、バイクにライダーの全体重をかけた状態で、バウンスをせずに、O-リングからショック本体のシールまでの間隔で計測します。圧力が正しく設定されていれば、サグ（エア圧）は、ライダーの経験/好み、地形の状態によって異なるものの、約13.5mmのストローク値となります。ライダーの体重が約136キログラムに達すると、サグ（エア圧）はバイクの規定量を超える可能性があります。



空気圧を調節した後は、空気圧を均衡させるため、ショックまたはフォークを数回動かしてください。



注意：ショックのメーカーが規定している最大空気圧を超えないでください。ショックの最大空気圧については、ショックメーカーの仕様を参照してください。

8.2. リバウンドの調整

リバウンドダンピング（赤色のノブ）は、圧縮されたショックが戻る速度をコントロールします。各リアショックには一定範囲のリバウンドクリックが備わっており、リバウンドのリターン速度を微調整できます。

- お使いのバイクの設定に用いるサスペンション設定工具が提供している範囲内で、ライダーの体重をはじめ、ライダーの経験/好み、地形の状態に基づいて、リバウンドを調節します。必要であればライディング中に微調整を行います。サスペンション設定工具にアクセスできないときは、クリック範囲の中間点から開始してください。
- 右に回すとリバウンドが遅くなります（より体重が重いライダー）。
- 左回りに回すとリバウンドが早くなります（より体重が軽いライダー）。



推奨されているクリックから大きく逸脱した設定は避けてください。許容範囲から大幅にずれていると、乗り心地に悪影響を与えることがあります。

8.3. コンプレッションの調整

コンプレッションダンピング（青色のノブ）は、ショックプラットフォームのサポート量をコントロールします。すなわち、ショックが「高速の圧縮力を吸収しつつ低速のペダリング力に抵抗する力」をコントロールします。

お使いのサスペンションが提供しているコンプレッションオプションの具体的な情報については、当該サスペンションのマニュアルを参照してください。サスペンションには通常、以下の設定のすべてまたは一部が備わっています：

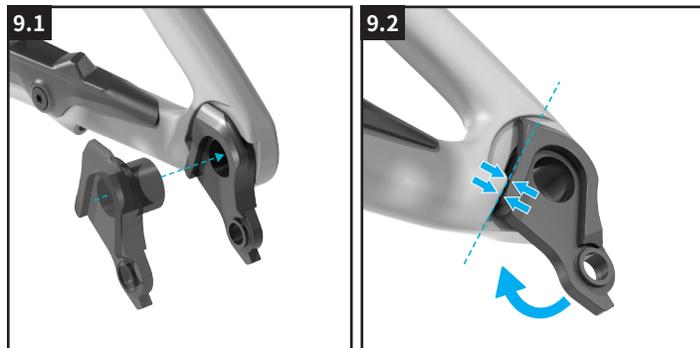
- OPEN：急傾斜の過激な下りにおけるコントロールとスマートさの完璧なバランスに最適化した低速コンプレッション設定です。
- PEDAL（特定のモデル）：さまざまな地形でペダリング効率とバイクコントロールの最適なコンビネーションを実現する、中程度の低速コンプレッション設定がオンになります。
- FIRM/LOCK：最大限のペダリング効率を発揮する、最も硬い低速コンプレッション設定がオンになります。

9. デイレーラーハンガー



警告！ライダーの安全のため、グリスは正しく塗布することが非常に重要です。グリスは指示された箇所だけに塗布してください。

取り付け方法：



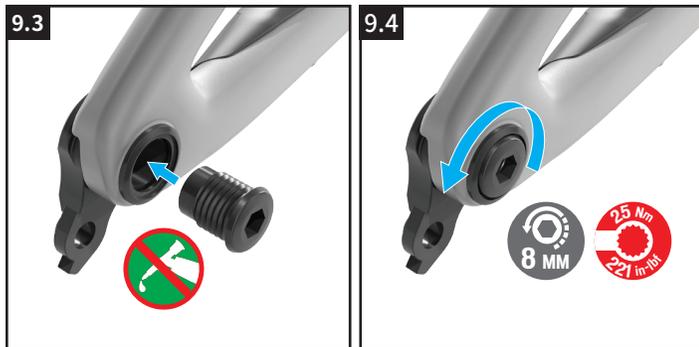
- 図 9.1：UDH ハンガーアセンブリをフレームのドロップアウトに取り付けます。
- 図 9.2：UDH ハンガーを、ハンガーポケットに完全に収まるまで、または回転ストップタブに接触するまで回転させます。



グリスは、スルーアクスルのねじ山だけに塗布します。フレーム、UDH ハンガーまたは UDH ボルトのねじ山には、グリスを塗布しないでください。

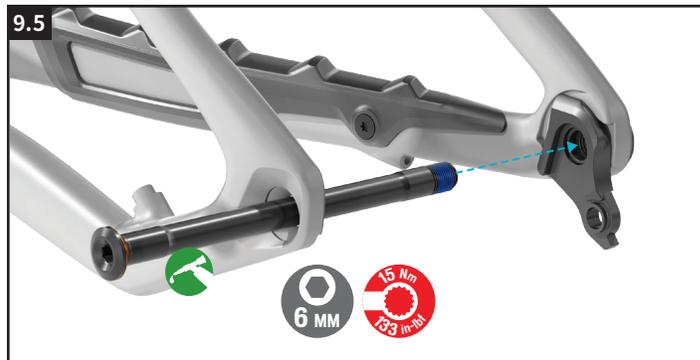


ハンガーは、指定のトルク値で締めるときに、ハンガーポケットに完全に収まっているか、またはフレームの回転ストップタブにぴったりと接触していないければなりません。



- 図 9.3 : UDH ワッシャーを取り付け、このワッシャーを通して、UDH ボルトを UDH ハンガーに締め付けます。
- 図 9.4 : ボルトを 25 Nm (221 in-lbf) のトルク値で締めます。UDH ハンガーボルトは左ねじです。

i 左ねじボルトを確実に締めるため、リバーシブル (左ねじおよび右ねじ両用) トルクレンチを必ず使用してください。



- 図 9.5 : アクスルを取り付ける前に、スルーアクスルのねじ山にグリスを塗布します。
- 図 9.5 : スルーアクスルとホイールを取り付けたら、リアアクスルを 15 Nm (133 in-lbf) のトルク値で締めます。

! 警告！ UDH ハンガーがしっかりと固定され、バイクの乗車前と後にずれや動きがないことを定期的に点検し、確認してください。

10. 小型パーツ

パーツ番号	項目
S202100004	FHB BEAR PAWLS BMB-0041201A FREEHUB BODY STEEL 3 PAWL SHIMANO
S202100005	FHB BEAR PAWLS BMB-0041201C FREEHUB BODY STEEL 3 PAWL XD
S202100006	FHB BEAR PAWLS BMB-0041201F FREEHUB BODY STEEL 3 PAWL MICRO SPLINE
S184700004	STC KCNC, SPL-SC02-386, EXTRUDED, 7075-T6, 38.6MM, SCM435, NONE FINISH BOLT, BOLT CLAMP TYPE
S142500005	HDS MY14-16 EPIC SW / MARATHON / EXPERT / COMP CARBON HEADSET
S181200001	CHG SBC CHAIN GUIDE ASSY,ISCG 28T - 36T
S184200068	SUB MY19 SJ FSR J1 REAR SHOCK HARDWARE KIT
S200600005	BRG MY21 SJ CARBON BEARING KIT
S200500006	BLT MY21 SJ CARBON BOLT KIT
S204300004	SHL MY21 SJ CARBON SHOCKLINK
S206300004	SHK EXT MY21 SJ CARBON CARBON EXTENSION KIT
S206300003	SHK EXT MY21 SJ CARBON ALLOY EXTENSION KIT
S204200033	SUB SWAT DOOR 2.0 KIT
S206900005	CSP MY21 SJ CARBON CHAINSTAY PROTECTOR WITH BOLT
S205000006	STS MY21 SJ CARBON REAR TRIANGLE 432 FOR S1-S4 SATIN BLK WHT

S205000008	STS MY21 SJ CARBON REAR TRIANGLE 442 FOR S5-S6 SATIN BLK WHT
S205000005	STS MY21 SJ CARBON REAR TRIANGLE 432 FOR S1-S4 GLOSS BLK WHT
S205000007	STS MY21 SJ CARBON REAR TRIANGLE 442 FOR S5-S6 GLOSS BLK WHT
S209900064	MSC MY21 SJ CARBON DOWNTUBE PROTECTOR MOLDED
S209900065	MSC MY21 SJ CARBON DOWNTUBE PROTECTOR MYLAR GLOSS FOR S1
S209900066	MSC MY21 SJ CARBON DOWNTUBE PROTECTOR MYLAR GLOSS FOR S2
S209900067	MSC MY21 SJ CARBON DOWNTUBE PROTECTOR MYLAR GLOSS FOR S3
S209900068	MSC MY21 SJ CARBON DOWNTUBE PROTECTOR MYLAR GLOSS FOR S4
S209900069	MSC MY21 SJ CARBON DOWNTUBE PROTECTOR MYLAR GLOSS FOR S5
S209900070	MSC MY21 SJ CARBON DOWNTUBE PROTECTOR MYLAR GLOSS FOR S6